

今日もたべた？本ごはん

めざせ目標冊数！

とうごうしょうがっこう とうしょかん へいせい ねんど がっこう
東郷小学校 図書館だより 平成25年度 6月号



各鮎のおどるところ

● 鹿児島も梅雨入りしました。去年より3日早いそうです。梅雨に入ると雨ばかり

で、外で遊ばなくていやだなあとと思っている人もいませんか。でもちよ

っと外に目をむけてみると、しとしと降る雨にあじさいが少しずつ色づきはじめ、

山々のみどりも雨にうたれて色濃くなり、とても美しくみえるはずですよ。

“梅雨”は生きものにとって、水をたくわえるための大切な時期です。こんなと

きこそ、みなさんも本を読んで、心にたっぷり栄養をたくわえてみてはいかがで

しょうか。そこで、6月は恒例の“毎日2さつデー”です。雨が続く日は、部屋

でじっくり読書がいちばんですよ。



お知らせ 6月の図書室お休みの日：毎週火曜日と13・19日

※27日は午前中のみ(昼休みはあいていません。)

★本の貸し出し…毎日2さつ



6月の詩

うた

声に出して読むと
なんかおもしろい！

河童と蛙

るんるん
るんるん
るんるん
るんるん
るんるん
るんるん

河童の血を月すべり。

じゃぶじゃぶ水をじゃぶつかせ。

かおだけ出して。

踊ってる。

るんるん
るんるん
るんるん
るんるん
るんるん
るんるん

草野心平

大河童沼のぐるりの山は。

ぐるりの山は息をのみ。

あしだの手だのふりまわし。

月もじゃぼじゃぼ沸いている。

るんるん
るんるん
るんるん
るんるん
るんるん
るんるん

立った。立った。水の上。

河童がいきなりぶるるとたち。

天のあたりをねめまわし。

それから。そのまま。

るんるん
るんるん
るんるん
るんるん
るんるん
るんるん

もうその唄もきこえない。

沼の底から泡がいくつかあがってきた。

兎と杵の休火山などもはつきり映し。

月だけひとり。

動かない。

ぐぶうと一と声。

蛙がないた。





6月

こんげつ

今月のいいね!



は たいせつ 歯を大切にしよう!



日本歯科医師会は1928年、むし(64)にかけて6月4日を“虫歯予防デー”としました。今は6月4日~10日を“歯の衛生週間”としています。80歳まで自分の歯を20本以上残そうという8020(ハチマルニイマル)運動もすすめています。

今月は「歯」に関する本と、6月10日は東郷小の田植えの日!ということで「お米」に関する本をあつめてみました♪

1きつめ!

歯がぬけたら、みんなはどうする??



『はがぬけたらどうするの?』

セビ-・ビ-ラー 文/ブライツ・ガス 絵/ルーベル館

乳歯がぬけたとき、そのぬけた歯をみんなはどうしているのでしょうか?世界中の64の地域からあつめた、66のさまざまな興味深い言い伝えや風習をイラストで紹介。国際理解にも役立ちます。巻末には図解入りで、歯の中のしくみや、歯には4つの種類があることなど、くわしく書かれている知識のページつき☆

2きつめ!

むし歯のもんだいを、歯医者さんがおしえます!



むし歯のもんだい

『むし歯のもんだい』

北川原 健・柳生 弦一郎/福音館書店



むし歯のバイ菌は小学生の歯がだいすき!どうして、きみたちの歯がいちばんむし歯のバイ菌にねらわれやすいのかな?むし歯のバイ菌にねらわれたら、どうしたらいいのかな?

むし歯のもんだいを、歯医者さんがやさしく教えてくださいます☆

3きつめ!

すべての子どもたちにおくる、“歯歯歯”のおはなし



『はははのはなし』

加古 里子 文・絵/福音館書店

「ははは はっはっはっはっは」と、みんなおもしろそうに笑っているのに、ひとりだけ泣いている子がいます。ははあん、「歯」が痛くて泣いているのですね。そんなに痛いなら「歯」なんかなければいいと思いませんか?

むし歯の痛さはだれでも知っています。歯の大切さと、歯をしょうぶに守る方法を、からだ全体との関連のなかで、わかりやすく、楽しく考えていく絵本です☆

4きつめ!

今の子どもたちに必要なもの=朝ごはん+この本



『もしも日本人がみんな米つぶだったら』

山口 タオ 文/津川 シンスケ 絵/講談社

いつも食べているごはん。お茶わん1杯にお米が何粒入っているか、考えたことあるかな?もし米つぶ1粒が人間ひとりだとすると…?

お米の国から来た、米とのさまが教えてくれる、大きな数を実感する秘伝・米つぶ換算術!

5きつめ!

オイラたちが、ほんとうのおにぎりのあじをおしえてやる!



『オニじゃないよ おにぎりだよ』

シゲタ サヤカ 作/えほんの杜

おにぎり好きのオニたちが、人間の落としたおにぎりをひろって食べて、大ショック!!「ひどすぎる!いくらなんでもにんげんどもが かわいそう!」

人間がいつもまずいおにぎりを食べているとかんちがいしたオニ3びきは、おいしいものを食べさせてやろうと大量のおにぎりを作って人間のすむ町へ。ところが、人間たちはオニをこわがって逃げてしまう。それをまたかんちがいした3びきは……。